

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	グラフィックデザイン実習 3 B		
科目基礎情報						
開設学科	グラフィックデザイン科	コース名	全		開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修		時間数	60時間
単位数	2 単位	授業形態	実習			
教科書/教材	参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。					
担当教員情報						
担当教員	後藤武		実務経験の有無・職種	有・編集者		
学習目的						
デザインの素材として最も重要な写真と動画の撮影方法と素材の活かし方を理解する。本科目では、単なる撮影手法を学ぶだけにとどまらず、写真素材によってどのようにデザインが変化するかを身を以て体験。その重要性和難しさを理解する。実社会の仕事であれば、カメラマンに依頼することになる撮影を学生の時点で理解し、他のメンバーとの共同での撮影などを体験することで、デザイナーとしての知識のみならず、コミュニケーションを含んだ人間力の向上を目的とする。						
到達目標						
グラフィックデザイン科共通のスキルとして以下のことを目標としている。 ①デザインにおいて写真、動画の持つ力を正しく理解する。 ②基本的な撮影の手法と技術を理解する。 ③複数のメンバーで共同での撮影することでチームワークの重要度とコミュニケーション能力を身につける。 ④事前にラフ制作を徹底し、事前の段取りとイメージを固めておく作業の進め方を身につける。						
教育方法等						
授業概要	作業に取り掛かる前の準備（段取り）がされていることで、どれだけ精神的、時間的負担が減り、自分の力を生かすことができるかを理解。依頼するデザイナー、依頼されるカメラマン、両方の立場と考え方を経験することで実社会での仕事の一部をイメージできるようにする。また、自分がイメージする写真をよりよく撮影する為のアイデアなどの創造力と工夫を磨く。またセットを組んだ撮影やモデル撮影などを共同で行うことでチームワーク、グループワークの基礎的な力を身につける。					
注意点	撮影は1回目から7回目で写真撮影の基礎と技術の習得を行い、8回目から15回目に関しては写真撮絵の応用を行うが、希望者がいる場合は動画撮影の授業を並行して行う。授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。					
評価方法	種別	割合	備 考			
	課題完成度	40%	提出課題の完成度を評価する			
	リサーチ	20%	制作準備と過程を評価する			
	相談検証	20%	制作過程で適切なディレクション受答ができたか評価する			
	プレゼン	10%	制作物の発表方法、内容について評価する			
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する			
授業計画（1回～15回）						
回	授業内容		各回の到達目標			
1回	ガイダンス、写真撮影基礎の説明		イベント内容を理解し情報整理をして複数の提案原案を作ることができる			
2回	写真撮影実習基礎①		撮影するテーマを選定。最終的に作成するデザインのイメージが作れること。			
3回	写真撮影実習基礎②		ラフ、サムネイルの作成ができるようになること			
4回	写真撮影実習基礎③		基礎的な技術を使って撮影ができるようになること			
5回	写真撮影実習基礎④		基礎的な技術を使って撮影ができるようになること			
6回	写真撮影実習基礎⑤		素材を生かしたデザインがイメージできること			
7回	写真撮影実習基礎⑥		素材を生かしたデザインを形にできること			
8回	講評		指摘された問題点を理解し次に生かせるようになること			
9回	写真撮影実習応用①		テーマ選定とより具体的なラフが描けるようになること			
10回	写真撮影実習応用②		撮影の準備段取りができること			
11回	写真撮影実習応用③		基礎的な技術を使って撮影ができるようになること			
12回	写真撮影実習応用④		基礎的な技術を使って撮影ができるようになること			
13回	写真撮影実習応用⑤		素材を生かしたデザイン、動画編集がイメージできること			
14回	写真撮影実習応用⑥		素材を生かしたデザイン、動画編集ができること			
15回	講評		制作物を完成提出、発表説明することができる			